

『教会からあふれるもの』 使徒の働き2章40～47節 2018.5.20 聖日説教より

『どうか、望みの神が、あなたがたを信仰によるすべての喜びと平和をもって満たし、聖霊の力によって望みにあふれさせてくださいますように。』
ローマ 15 章 5、13 節

救われたクリスチャンのあるべき姿(教会の本質)は何か？彼らは、『…使徒たちの教えを堅く守り、交わりをし、パンを裂き、祈りをしていた(使徒 2:41～42)』。

①「**教えを堅く守り(プロスカルテオー)**」とは、「～から離れない」の意。罪から救われた人々は聖書の教えを学び続け、御許に近づき、御声を聴き続け、御顔を仰ぐ者となった(Ⅱコリント 4:6)。御言葉を通して、イエスから目を離さず(ヘブル 12:2～3)、その愛に留まり(ヨハネ 15:4～11)、復活の主をいつも思う(Ⅱテモテ 2:8、10)ので、元気を失うことなく、心に喜びがあふれる。ご聖霊は御言葉を悟らせて、この確信へと導かれる！そして、さらなる祝福へと導かれる！

②「**交わり(コイノニア)**」とは、「共有する」の意。救われた者たちは、神の赦しと恵みを共有し、助け合っていた！その姿は、当時の人々にはとても魅力的だった！人は神と隣人との「関係」の中で生きるように創られている！誰もが、弱り、傷つき、時に、助けが必要になる！神の似姿に創られた私たちは、邪魔さえしなければ、与えられている本来の優しさが溢れ、素直な心から、人を慰め、元気にする力が出る！ご聖霊は私たちの頑固な心に気づかせ、エゴを捨てさせ、互いの愛を溢れさせてくださる！

③「**パンを裂き**」…ご聖霊は、かつて私たちが罪の奴隷だったこと、そして十字架の贖いにより救われたことを、いつも思い出させてくださる！イエス様の流された血潮、裂かれた御体を思うたびに、赦され、愛されている！と、ただ感謝があふれる(詩篇 103:2)！

④「**祈りをしていた**」…彼らは、いつでもどこでも祈る者だった！『わたしの家は祈りの家と呼ばれる(マタイ 21:13)』。教会の働きは、主に祈ってこそ実を結ぶ！あらゆる問題は、私たちが抱えていては解決しない！御手に委ね、神に抱いていたなら報われる！あなたは、本当に渴き、諦めず、本気で祈っているだろうか？諦めなければ、必ず答えが来る！忍耐をもって祈れば、必ず神の助けがある！ご聖霊は、私たちに信仰と忍耐の祈りを与える！

★聖霊が注がれるとクリスチャンは①御言葉に目が開かれ、主の臨在への畏れと感謝が溢れ、②自分の損得を越えて、助け、励まし合う「愛」があふれ、③罪に死に、神に生きる感謝が溢れ、④主への期待と忍耐の祈りが溢れる！この4点で、神と隣人との健全な関係をチェックしたい！